



安城市多文化共生プラン

概要版

安城市がめざす多文化共生社会の将来像

多文化が花ひらくまち 安城

～ 一人ひとりのルーツを認め、つながり、輝く ～



計画期間 2014 (平成26) 年度～2018 (平成30) 年度

言語や文化、生活習慣及び国籍の違いにかかわらず、
安心して暮らせる地域、自分らしく暮らせる地域、
活力ある地域、“だれもが幸せに暮らし続けられるまち”
を実現していくために多文化共生プランを策定しました。



安城市マスコットキャラクター
「サルビー」

安城市における「多文化共生社会」とは

言語や文化、生活習慣および国籍の違いにかかわらず、

- ◆ 自分のルーツに誇りを持ち、互いのルーツを認め合い、活かす
- ◆ 同じ地域で生活していくために、ともに地域での生活ルールを考え、守る

この2つのことを実現した社会が多文化共生社会です。

多文化
共生って？



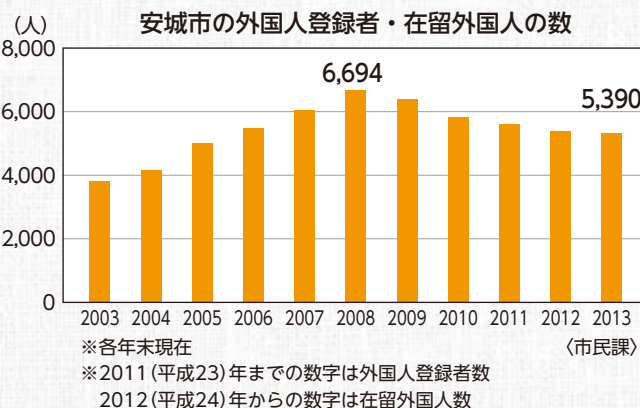
安城市にいる外国人の数

本市には、48の国・地域の5,390人の外国人
人が生活しています(平成25年12月末現在)。

国籍別の人口は以下の通りです。

1位	ブラジル	1,809人
2位	フィリピン	1,392人
3位	中国	986人
4位	韓国・朝鮮	341人
5位	ベトナム	213人

※上位5の国・地域



多文化共生をすすめるキーワード

“交わる・関わる”

外国人住民と日本人住民が
気軽にあいさつでき、
普段着でつきあえる
安城市をめざします。

“伝え合う・支え合う”

外国人住民への情報発信や
相談支援など、生活に関する
支援が整った安城市を
めざします。

“学び合う・認め合う”

多文化共生、互いの文化
や習慣などについて学び
合い、互いを認め合える
安城市をめざします。

“活躍する・役割を担う”

外国人住民も地域の
役割を担い、活躍し、
みんなで多文化共生の
社会づくりを進める
安城市をめざします。



安城市マスコットキャラクター
「サルビー」

多文化共生を進める担い手

多文化共生は、様々な主体がそれぞれの
場所で取り組み、連携しながら協働で
進めていくことが必要です。



多文化共生の実現に向けた施策

1. 言語・情報に関する安心づくり

情報提供

多言語・効果的な方法での情報提供の
充実、やさしい日本語の普及・活用など

日本語学習

日本語を学ぶ意識の向上、学習機会の
充実、日本語にふれる機会づくりなど

2. 生活に関する安心づくり

生活全般

相談支援体制の整備・充実、外国人住民
も利用しやすい公共施設づくりなど

居住

生活ルール等を学び・考える機会の充実、
住宅に関する情報提供の充実など

労働

多文化共生の職場づくりの促進、労働に
関する情報提供の充実など

医療・保健・福祉

医療・保健・福祉に関する制度等の周知、
サービスが受けやすい環境づくりなど

防災・防犯・交通安全

防災等に関する意識の向上、避難・支援体
制の整備、情報提供の仕組みづくりなど

3. 子育て・教育に関する安心づくり

子育て

子育てに関する情報提供、就学支援、地
域における子どもの居場所の充実など

教育

教育・進路に関する情報提供・相談体制、
学習支援の充実など

4. 多文化共生の地域づくり

多文化共生の意識づくり

交流機会の充実、多文化共生の意識啓発、
担い手育成・支援など

外国人住民の社会参画

外国人住民のキーパーソンの発掘・育成、
地域への参画の促進など

重点プログラム1 普段着でつきあえる仲間づくり



概要

- 1 外国人住民と日本人住民が交流する機会をつくります。
- 2 やさしい日本語を広め、活用します。
- 3 多文化共生を進める担い手を育成します。
- 4 外国人住民が参加しやすい行事の開催を支援します。
- 5 外国人住民の活動情報や地域活動の情報など、地域の情報発信を支援します。



多文化交流会
～持ち寄りパーティー～の様子



多文化交流会
～ブラジル編～の様子



重点プログラム2 災害時に備えた仕組みづくり



概要

- 1 外国人住民の災害に対する意識を高めます。
- 2 外国人住民が参加しやすい防災訓練や避難所運営訓練の実施を支援します。
- 3 外国人住民に災害時の情報が届く仕組みをつくります。



企業における防災訓練
外国人住民が消火訓練をしている様子
(株式会社ヒサダ)



町内会における防災訓練 1-1
外国人住民が通訳をしている様子
(土器田町内会)



防災訓練 1-2
町内会名をひらがなと
ローマ字で案内
(南明治町内会連合会)

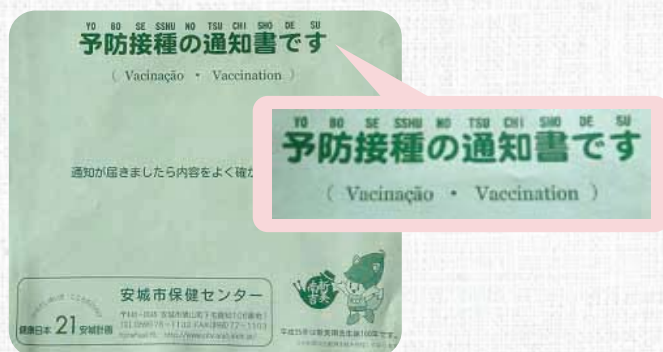
重点プログラム3 利用しやすい市役所・図書館づくり

概要

- 1 すべての職員が、外国人住民とのわかりやすいコミュニケーションに努めます。
- 2 行政情報は、必要に応じてやさしい日本語で発信します。
- 3 外国人住民向けの案内窓口を設置します。
- 4 市役所内の案内表示などは、外国人住民にもわかりやすい案内表示にします。
- 5 外国人住民相談体制を充実します。
- 6 「(仮称)図書情報館」に外国語の図書、新聞、雑誌などを充実します。

市役所が発送する封筒

内容がわかるように簡易翻訳をしたり、書類のタイトルをローマ字で記載



市役所内の庁内案内板

大きな文字や番号、色を用いたり、多言語で表記



その他の多文化共生に関する取り組みの様子



市主催の日本語教室の様子
(愛知教育大学の学生と協働)



市総合防災訓練
患者役(トリアージ)をする
外国人住民



町内会主催のお祭り
町内会の夏祭りに外国人住民が参加している様子
(土器田町内会)



市主催の子ども日本語教室の様子
(市民ボランティアと協働)



安城市多文化共生プラン 概要版

発行年月 2014(平成26)年3月
発行 安城市市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号
電話番号 0566-71-2218(直通)